

# 施策評価シート（評価実施年度：平成27年度）

事務事業所管部局長 (幹事部局)	商工労働部長 安井克久	電話番号	0852-22-5280
---------------------	-------------	------	--------------

## ①施策の目的等

施策の名称	<b>施策 I-3-2 情報発信等誘客宣伝活動の強化</b>
目的	○「歴史」「自然」「文化」「伝統芸能」など島根県独自の魅力を、様々なメディアを活用し国内外に向け複合的に情報発信し、観光誘客を促進します。

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	数値目標	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
観光入込客年間述べ数	目標値	/	29,700	29,500	29,300	30,000	千人	しまね観光ナビゲーション（国内外版）トップページの年間アクセス件数	目標値	/	747,900	842,300	948,700	1,000,000	アクセス
	取組目標値	/							取組目標値	/					
	実績値	27,489	29,188	36,819	33,207				実績値	642,671	750,584	968,371	996,101		
	達成率	/	98.3	124.8	113.3				%	達成率	/	100.4	115.0	105.0	
定性目標	目標値	/					%	平成24年度～平成27年度	目標値	/					%
	取組目標値	/							取組目標値	/					
	実績値								実績値						
	達成率	/							%	達成率	/				
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<p>○「神々の国しまね」プロジェクトの成果を継続させるため、ご縁の国しまね観光キャンペーンを通じて、出雲大社をはじめ、古くから受け継がれてきた島根の歴史・文化の魅力を、県内外に積極的に情報発信を進めたことにより、H25年に比べて観光入込客数は減少したものの、H24年からは増加している。引き続きH27目標値「30,000千人」の達成（現状の維持）を目指す。</p> <p>○しまね観光ナビゲーションのアクセス数は年々増加しており、島根への関心の高さが伺える。</p>														

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>○島根のイメージ定着は進みつつあるが、誘客については他地域との競争が激化している。</p> <p>○民間調査会社の地域ブランド力調査（H26年）では、島根県の都道府県別の全国順位は26位と、前年調査（33位）からランクアップした。また、県が実施した首都圏での認知度調査では、島根県は、行ってみたい都道府県全国14位であり、また、「縁結びの地」としての認知度が45.8%、出雲大社の平成の大遷宮についての関心度は25.1%で最も高かった。</p> <p>○旅行会社やマスコミ等に対し、島根の魅力を発信するため、観光情報説明会を東京、大阪、名古屋などを中心に12回開催した。</p>
---	--

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価	判断	その理由
A: 順調に進んでいる B: 概ね順調に進んでいるが見直す点もある C: あまり順調に進んでいない	A	<p>OH26年度は、出雲大社の大遷宮効果の継続により、引き続き多くの観光客が島根を訪れた。</p> <p>○出雲大社の大遷宮を契機に「島根」の認知度が大いに高まり、「ご縁」や「神々」といった島根ならではのイメージが定着した。</p>

## ⑤課題の認識

(1) 平成27年度末の施策目的の達成状況（予測）	判断	その理由（「総合的な評価」の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
A: 達成できる B: 概ね達成できる C: 達成は困難	A	
(2) 施策の目的達成に向けての課題	<p>○観光客来訪の勢いを継続していくために、全国に浸透しつつある「神々」や「ご縁」といった島根ならではのイメージを、プロモーションを通じて国内外に向けて力強く情報発信していく必要がある。</p> <p>○首都圏や関西、中京、九州など大都市圏や海外からの誘客に向け、広島県、鳥取県、山口県、三重県など従来の連携体制の強化を図るとともに、愛媛県を含めた新たな広域連携による情報発信を進めていく。</p> <p>○更なる増加が見込まれる外国人観光客の誘致を促進するため、さまざまな手法を用いて海外へ向け積極的に情報発信を行うとともに、隣接県や関連団体とも連携して誘客対策の強化に取り組んでいく。</p> <p>○新たな寝台列車を活用した観光素材づくりや情報発信について関係者との検討を進め、効果を県内全域へ波及させていく。</p>	

## ⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<p>○「ご縁」や「神々の国」といった島根のイメージを様々なメディアを通じて力強く情報発信するとともに、ご縁に関心の高い若い世代だけでなく、シニア層に向けた情報発信や誘客策を推進していく。</p> <p>○首都圏や関西、四国、九州など大都市圏からの誘客や海外からの誘客に向け、縁結びの地、石見神楽、温泉、世界ジオパークなど、その地域でしか味わえない本物の魅力を積極的に情報発信し、全県への観光誘客につなげていく。</p> <p>○外国人旅行者誘致に向けたプロモーション活動を積極的に行うとともに、団体向け旅行商品の充実、個人旅行者向け情報発信の強化などに取り組んでいく。</p>
---------------------	---